

## Topics

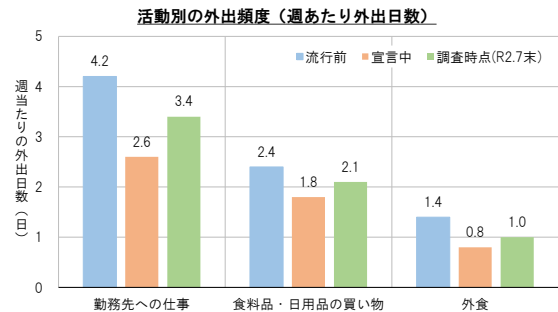
### 新型コロナウイルス感染症拡大による影響について

新型コロナウイルス感染症は、国内では昨年1月に最初の感染者が確認され、その後全国に拡大し、緊急事態宣言が2度発出されるなど社会・経済に多大な影響を与え、現在も収束の兆が見えていません。

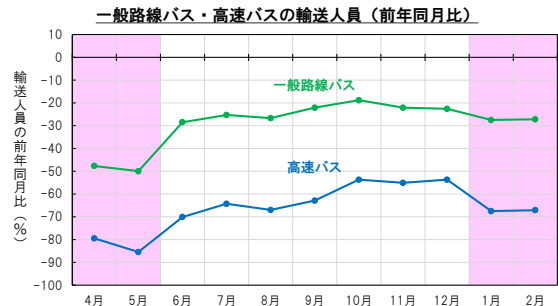
現在、国土交通省総合政策局総務課（総合交通体系グループ）では、新型コロナウイルス感染症による交通への影響を調査しております。調査の過程ですが、内容の一部をご紹介します。

#### 新型コロナウイルス感染症拡大による交通需要の変化

- ・ 人との接触を減らすため、外出の取りやめやテレワーク等により、**外出頻度が減少**しました。外出頻度の減少の他に、時差出勤等の**移動帯時間の分散**、**近距離移動の増加**、**パーソナルな移動手段への転換**といった変化もみられました。
- ・ 様々な活動が制限を受けましたが、テレワークの普及等、暮らしの**デジタル化**が進んだことには、**肯定的に捉える向き**もあります。
- ・ 外出頻度の減少により、**公共交通機関の利用者が減少**しています。一般路線バスは、5月に前年比5割、高速バスに至っては8割減となっています。宣言解除後、一般路線バスは10月に2割減まで回復し、その後横ばいに、高速バスは10月に5割減まで回復しましたが、1月の緊急事態宣言の再発令により、7割減まで落ち込んでいます。



（資料：国土交通省調べ）



（資料：国土交通省調べ）

#### 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立に向けた交通分野の取組

- ・ 緊急事態宣言下においても、生活機能を維持するため、**公共交通機関は感染防止対策を講じながら、運行を継続**しました。また、利用者が混雑を回避するための**混雑情報の提供**も広く行われるようになりました。
- ・ 一方で、レンタカー・カーシェアの通勤向け料金プランの提供、自転車通勤制度の導入といった**パーソナルな交通手段の利用を促進する取組**も行われています。また、電動キックボード等**感染リスクの少ない新たなモビリティを導入**する動きもあります。
- ・ さらに、**タクシーによる宅配や買物代行**も広がりを見せ、交通手段やその使われ方が多様化しています。

#### まとめ

- ・ 今後の交通政策を考える上で、**①新型コロナウイルス感染症拡大により変化した交通需要を的確に把握し、②多様なモビリティを状況に合わせ柔軟に活用することが、重要になると考えられます。**

# 総合交通体系グループだより

## ◆総合的交通基盤整備連絡会議の動画・資料公開のご案内（国土交通省 総合政策局 総務課）

前号でも紹介しましたが、昨年11月10日(火)に「ウィズ・コロナ/アフター・コロナにおける地域交通体系のあり方」をテーマに、第41回総合的交通基盤整備連絡会議をオンライン形式で開催しました。講演の動画・資料を下記の通り、公開しています。参加できなかった方、もう一度見たい方は、ぜひご視聴ください。

<b>講演 1</b>	講師：福島大学 准教授 吉田 樹 演題：コロナ禍を乗り越える ～いま地域モビリティに求められること～ 動画 <a href="https://youtu.be/C3XbYwFThIM">https://youtu.be/C3XbYwFThIM</a> 動画配信先→ 資料 <a href="http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/2012-kaigi1.pdf">http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/2012-kaigi1.pdf</a>	 
<b>講演 2</b>	講師：東京大学 特任講師 伊藤 昌毅 演題：データはどのように地域交通を支え、変えてゆけるか ～コロナ禍後の地域交通をより良いものにするために～ 動画 <a href="https://youtu.be/6_xXzch8k24">https://youtu.be/6_xXzch8k24</a> 動画配信先→ 資料 <a href="http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/2012-kaigi2.pdf">http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/2012-kaigi2.pdf</a>	 
<b>講演 3</b>	講師：ニッセイ基礎研究所 准主任研究員 坊 美生子 演題：高齢者等の生活ニーズから考える地域の「移動支援」 ～アフターコロナでも利用しやすい移動サービスを創る～ 動画 <a href="https://youtu.be/a2W7duoqgds">https://youtu.be/a2W7duoqgds</a> 動画配信先→ 資料 <a href="http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/2012-kaigi3.pdf">http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/2012-kaigi3.pdf</a>	 
<b>講演 4</b>	講師：香川県高松市都市整備局交通政策課 課長 西吉 隆典 演題：高松市における総合的な交通体系の再構築 ～コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり～ 動画 <a href="https://youtu.be/7Dm7W7yh7Kk">https://youtu.be/7Dm7W7yh7Kk</a> 動画配信先→ 資料 <a href="http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/2012-kaigi4.pdf">http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/2012-kaigi4.pdf</a>	 

## ◆自治体の総合的な交通計画の公表情報（R2.11～R3.2）（国土交通省 総合政策局 総務課）

令和2年11月28日～令和3年2月28日の間に、ウェブサイトにおいて公表された自治体の総合的な交通に係る計画です。各地域における計画策定等の参考にして頂ければ幸いです。

参考情報はこちら <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/130-1sougoukoutsu.pdf>



## ◆次年度の総合的交通基盤整備連絡会議等の開催について（国土交通省 総合政策局 総務課）

国土交通省 総合政策局 総務課では、地方公共団体における総合交通関連の検討等を支援するため、総合的交通基盤整備連絡会議、国土交通大学校における総合交通体系(地域モビリティ)研修や出前講座を開催しています。

令和2年度は、総合的交通基盤整備連絡会議を初めてオンライン形式で開催し、これまでで最大の申込みがあり、全国各地から多くの方々に参加いただきました。

次年度は、新型コロナウイルスの感染状況も考慮し、オンラインや対面、オンライン・対面の併用等の開催方法を検討していきたいと思います。

開催が決まりましたら、改めて、本メールマガジン等でお知らせ致します。

## コラム

### ◆総合交通体系グループのメンバー紹介

本メールマガジンを発行する国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ）のメンバーを紹介したいと思います。第3回は総合交通体系でメルマガ等を担当する麻生専門調査官です

### デジタル化が進み、よりリアル的重要性を認識。

総合政策局総務課（総合交通体系グループ）専門調査官の麻生です。「総合交通メールマガジン」や「地域のモビリティ確保の知恵袋」を担当しています。

前勤務地は九州地方整備局 熊本河川国道事務所 技術副所長でした。熊本は2度目の勤務で、1度目は熊本地震の発災時（2016.4）に工務課長として在職し、大規模災害の初動対応を経験。2度目は国、県、JR等が連携し、創造的復興に向けた現場対応を経験。発災から復旧・復興に至るまでの貴重な経験をさせてもらいました。

令和2年4月から当グループへ配属され、はや1年が経過しました。当初から新型コロナウイルス感染症の影響により、楽しみにしていた都内めぐり等も満足にできず、巣ごもり生活が続く毎日でした。また業務では、毎年5月に全国の交通政策担当者を迎えて行う総合的交通基盤整備連絡会議（以下「基盤会議」）が延期、基幹業務は大幅な調査内容の変更、出前講座の制限、テレワーク実施など大きな影響がありました。

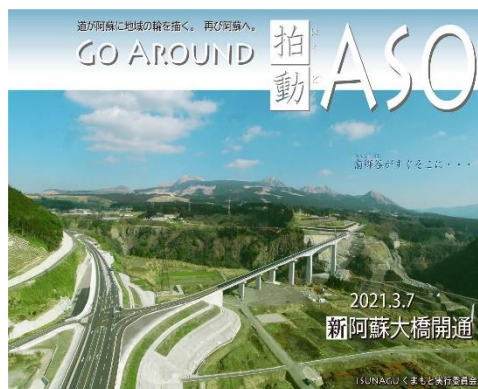
特に「基盤会議」は、年度当初より各自治体のオンライン環境の調査を行い、なんとか11月に初のWEB会議を開催できました。結果的に参加者は例年の2倍となり、情報発信の意味では効果的な会議となりました。一方で例年行われていた「基盤会議」後の参加自治体担当者との対面によるコミュニケーション等が無くなり、課題をもつ自治体への出前講座の営業活動ができない状況となりました。まさにデジタルによる効果と弊害を同時に実感したところです。

今後もオンラインの業務や会議、研修等が主流になると思われますが、やはり、人とのリアルなつながりがたたれると、仕事もプライベートも非常に窮屈に感じます。デジタルの進展は一方でリアル的重要性を認識できます。

地域交通においては、リアルな“おでかけ”を守るため、デジタル化による課題解決も図りながら、その地域特性に応じた対策を考える必要があると思います。今後も九州でのリアルな現場経験なども活かしながら、コロナを契機とした今後の地域交通のあり方について発信を行なっていきますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



2016.4 橋の崩落や国道の崩壊、周辺道路の寸断等による生活や経済への損失を実感。



2021.3 崩落した阿蘇大橋にかわる新阿蘇大橋が完成し、道路ネットワーク機能が復旧  
※出典：TUNAGU くまもと実行委員会

# Information

## ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

本メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、内容の充実を図りたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなどがございましたら、下記連絡先に頂けると幸いです。

E-mail : [hqt-soukou01@mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp)

## ◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当課では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することで、各地域にノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。また、イベント案内や、勉強会、講演会、セミナーなどをご紹介頂ければ、当メールマガジンにてご案内させていただきます。主催者の方でも、耳より情報でも結構です。(情報提供はこちらまで [hqt-soukou01@mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp))

【情報提供頂く内容】

・地域の交通拠点の形成・再編による地域交通の維持・活性化の取組 など

### 総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く紹介することを目的として発行しているメールマガジンであり、主な購読者は都道府県、市町村等の交通施策担当者です。

当メールマガジンで紹介させていただく記事は、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

《総合交通メールマガジンのバックナンバーはこちら↓》

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html)



また、当メールマガジン以外でも、公共交通政策全般について、国民の皆様にも広く関心を持って頂くためのメールマガジンを配信しております。ご興味のある方は、以下のアドレスから配信のご登録をお願いします。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport\\_tk\\_000039.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html)



<送信先の変更申請について>

メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎しております。変更内容については、下記連絡先までお願いします。

E-mail : [hqt-soukou01@mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp)

### 問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ） 麻生

TEL : 03-5253-8111 (内線53-113) FAX : 03-5253-1675

E-mail : [hqt-soukou01@mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp) URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

※ 2019年2月28日より総合交通メールマガジンのメールアドレスが変わりました

